

庁舎のあり方について
(新庁舎の機能検討について)

本年8月の行財政改革特別委員会において、4つの建て替え候補地を提案した。候補地それぞれの利用条件等を比較考慮し、広町地区の区有地を再編して新庁舎計画を検討することが望ましいとのご議論をいただきました。JRとの協議を進めている。

記

1 建物概要

本庁舎・議会棟・第三庁舎	1968年竣工（築50年）地上8階・6階・6階 延床面積計 29,481 m ²
第二庁舎	1994年竣工（築24年）地上8階 延床面積 13,620 m ²

2 新庁舎の機能検討

資料1 「新庁舎の機能検討について」のとおり

3 今後の方向性

庁内検討および庁舎機能検討委員会により、新庁舎の機能検討についてまとめを作成する。

1. 関係団体への説明

8月27日の行財政改革特別委員会での議論等について、延べ50回にわたり、経緯を説明した。

- (1) 町会・自治会・・・13団体
- (2) 地元商店街・・・2団体
- (3) 区関連団体・・・17団体
- (4) 関係官公署・・・6団体

2. 求められる庁舎機能

(1) 区民に開かれた庁舎

- ・ワンストップ窓口などのサービスアップと効率化
- ・ユニバーサルデザインへの配慮やバリアフリー化
- ・区民と区との協働、交流拠点としての役割
- ・働きやすさに配慮した空間整備やICTの活用

(2) 防災拠点機能を強化した庁舎

- ・災害対策本部として、区民の安心安全を支える防災拠点
- ・耐震性能、浸水対策、非常用電源などの建物性能
- ・災害時の区民受け入れを考慮した建物

(3) 環境に配慮した庁舎

- ・高効率、省エネルギー性能を高めて維持管理コストを低減
- ・再生可能エネルギーの活用

(4) 長く使われる庁舎

- ・社会情勢の変化による業務量の増減やICT化など、将来を見据えた環境の整備
- ・老朽化による設備機器・配管などの更新などを考慮した計画

3. 庁内検討

(1) 分野を決め、職員による横断的なPTにより調査検討を行う。

- ・ワンストップ窓口・・・届出・証明系、福祉系、まちづくり系
- ・保健衛生機能・・・保健所、大井保健センター、検査室
- ・教育機能・・・図書館、教育総合支援センター
- ・文化・スポーツ機能・・・アリーナ、区民ホールなど多目的施設
- ・他機関との調整・・・国(法務局、税務署)、都(都税、二建)

(2) 先行自治体の事例研究を行う。

渋谷区、豊島区など

(3) 民間オフィスの機能研究を行う。

フリーアドレス、ペーパーレスなど

4. 庁舎機能検討委員会

(1) 委員

20人程度(区内団体、公募区民、学識経験者)

(2) 回数

5回程度

(3) 内容

現状把握、機能検討状況の確認、今後の進め方、議論、まとめ

(4) 事務局

総務部、都市環境部